

平成 30 年度 第 4 回 海老名市総合教育会議 次第

日時：平成 31 年 2 月 16 日（土）10：00～

場所：ビナレッジホール

1 開会

2 あいさつ

3 協議事項

（1）次期教育大綱について

（2）市内小中学校の校外活動の状況について

（3）中学校給食について

（4）海西中学生徒からの学校生活に関する提案について

（5）その他

4 閉会

平成30年度 第4回海老名市総合教育会議

日 時:平成31年2月16日(土)10:00～
場 所:ピナレッジ・ホール

1. 次期教育大綱について

1. 教育大綱

(1)教育大綱とは

市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的施策についての目標や施策の根本となる方針

(2)教育大綱の策定

教育大綱は、教育行政における地域住民の意向をより一層反映させるため、市長が策定するものです。

また、策定や変更にあたっては、市長と教育委員会との間で、十分な協議するものとされています。

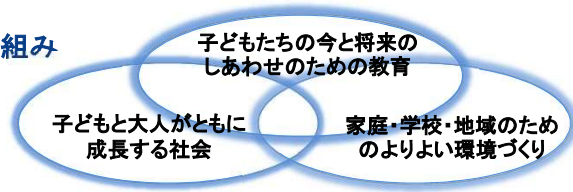
1. 次期教育大綱について

2. 海老名市教育大綱

(1) 目標

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

(2) 取り組み



(3) 教育施策の3つの柱

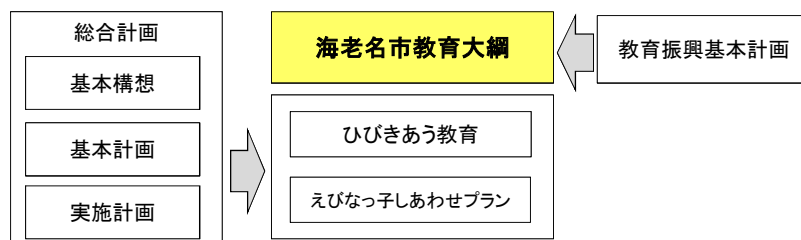
- ①「えびなっ子」しあわせプランの推進
- ②子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実
- ③安全安心な環境と新たな学校施設への取組

1. 次期教育大綱について

(4) 計画期間

4年間(平成27年4月～平成31年3月)

(5) 計画の位置づけ



海老名市教育大綱

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

●子どもたちの「しあわせ」

●家庭・学校・地域の「しあわせ」をめざします

そのために海老名市として

子どもと大人が
ともに成長する社会

子どもたちの
今と将来の
しあわせのための
教育

家庭・学校
地域のための
よりよい環境づくり

に取り組みます

教育施策の3つの柱

子どもと大人がともに学ぶ
生涯学習の充実

子ども・学校支援事業の実践
図書館・文化財の積極的な活用
学校を拠点とした生涯学習社会と
地域コミュニティの再構築

「えびなっ子」しあわせ
プランの推進

「学力」「集団力」「健康安全力」を
身につける教育実践
小中の9年間を見通した教育
システムの実施
海老名型コミュニティスクール
「おらが学校」の展開

安全安心な環境と
新たな学校施設への取組

安全安心な子育て環境の整備
義務教育に係る公費負担の
あり方の検討
地域住民が集う学校施設の
あり方の検討

家庭・学校・地域・行政の力を結集して

1. 次期教育大綱について

3. これまでの「教育大綱」に係る議論

(1) 第2回海老名市総合教育会議(平成30年9月8日)

○大綱の基本的な考え方は変更せず、3つの柱(教育施策)について見直しを図るべきである。

○各事業の達成度等を精査し、進化する大綱としたい。

○協議を進め、平成31年度早々の総合教育会議で決定する。

(2) 第3回海老名市総合教育会議(平成30年11月18日)

○各所管課が行った3つの柱(教育施策)について評価を行い、各事業が成果をあげていることを確認。

○学校給食について一定の方向性を検討する。

○オリンピック、パラリンピック等を機に国際理解を深める。

新海老名市教育大綱(案)

わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

「しあわせをはぐくむ教育のまち」海老名

- 子どもたちの
- 家庭・学校・地域の

しあわせ をめざします

子どもたちの今と将来のしあわせのための教育

子どもと大人がともに成長する社会

家庭・学校・地域のためのよりよい環境づくり

教育施策の3つの柱

「えびなっ子しあわせプラン」の推進

- 新しい授業スタイルの確立
- 社会に開かれた教育課程の編成
- 小中一貫教育、コミュニティ・スクールの推進
- 英語教育及び国際理解の推進
- 学校ICTの環境整備と活用

子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実

- 子ども・学校支援事業の実践
- 社会教育計画の見直し
- 「ひろがる・つながる・みんなの図書館」への進化
- 相模国分寺跡等、文化財の積極的な活用
- 生涯学習講座の充実

新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

- 「持続可能」で「夢」のある学校施設整備
- 安全安心のための環境整備
- 学校給食のあり方の検討
- 義務教育に係る公費負担のあり方の検討
- 放課後児童クラブ（学童保育）の充実

に取り組みます

家庭・学校・地域・行政の力を結集して

新海老名市教育大綱(案)

教育施策の3つの柱

(1)「えびなっ子しあわせプラン」の推進

(現在)

「えびなっ子」しあわせプランの推進

(2)子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実

(現在)

子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実

(3)新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

(現在)

安全安心な環境と新たな学校施設への取組

新海老名市教育大綱(案)

(1)「えびなっ子しあわせプラン」の推進

- ①新しい授業スタイルの確立
- ②社会に開かれた教育課程の編成
- ③小中一貫教育、コミュニティ・スクールの推進
- ④英語教育及び国際理解の推進
- ⑤学校ICTの環境整備と活用

新海老名市教育大綱(案)

(2)子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実

- ①子ども・学校支援事業の実践
- ②社会教育計画の見直し
- ③「ひろがる・つながる・みんなの図書館」への進化
- ④相模国分寺跡等、文化財の積極的な活用
- ⑤生涯学習講座の充実

新海老名市教育大綱(案)

(3) 新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

- ①「持続可能」で「夢」のある学校施設整備
- ②安全安心のための環境整備
- ③学校給食のあり方の検討
- ④義務教育に係る公費負担のあり方の検討
- ⑤放課後児童クラブ(学童保育)の充実

新海老名市教育大綱(案)

わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

「しあわせをはぐくむ教育のまち」海老名

- 子どもたちの
- 家庭・学校・地域の

子どもたちの今と将来のしあわせのための教育

しあわせをめざします

子どもと大人がともに成長する社会

家庭・学校・地域のためのよりよい環境づくり

教育施策の3つの柱

に取り組みます

「えびなっ子 しあわせプラン」の推進

- 新しい授業スタイルの確立
- 社会に開かれた教育課程の編成
- 小中一貫教育、コミュニティ・スクールの推進
- 英語教育及び国際理解の推進
- 学校ICTの環境整備と活用

子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実

- 子ども・学校支援事業の実践
- 社会教育計画の見直し
- 「ひろがる・つながる・みんなの図書館」への進化
- 相模国分寺跡等、文化財の積極的な活用
- 生涯学習講座の充実

新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

- 「持続可能」で「夢」のある学校施設整備
- 安全安心のための環境整備
- 学校給食のあり方の検討
- 義務教育に係る公費負担のあり方の検討
- 放課後児童クラブ(学童保育)の充実

家庭・学校・地域・行政の力を結集して

市内小中学校の校外活動 の状況について

(修学旅行・野外活動・遠足)



校外活動の位置づけ

学習指導要領より

【遠足・集団宿泊的行事】

- 平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむ
- よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにする

校外活動の日程・場所等

- ◇教育課程(教育活動計画)のひとつとして各学校で決定
- ◇実施計画書を市教委に提出

修学旅行

【小学校】

場 所	期 間	形 態	1人あたりの費用
日 光	1泊2日	見学 体験活動	1万9千円 から 2万4千円

修学旅行

平成30年度第4回総合教育会議

【中学校】



場所	期間	形態	1人あたりの費用
京都・奈良	2泊3日	見学	5万円
飛鳥・京都	2泊3日	見学・民泊	5万5千円
青森県	2泊3日	体験・民泊	5万2千円
広島県	2泊3日	見学・体験	5万6千円
奈良県	2泊3日	見学・民泊	5万4千円
青森県	2泊3日	体験・民泊	5万2千円

野外教育活動

平成30年度第4回総合教育会議

【小学校】

場所	期間	形態	1人あたりの費用
静岡県 御殿場市	1泊2日	体験活動	約1万3千円 (全額補助)



野外教育活動

平成30年度第4回総合教育会議

【中学校】

場 所	期 間	形 態	1人あたりの費用
静岡県	1泊2日	体験活動	1万6千円（1万円補助）
静岡県	2泊3日	体験活動	1万4千円（1万円補助）
長野県	2泊3日	体験活動	1万5千円（1万円補助）
山梨県	1泊2日	体験活動	1万2千円（1万円補助）
山梨県	2泊3日	体験活動	1万6千円（1万円補助）
南足柄市	日帰り	体験活動	7千円（全額補助）

遠足・その他

平成30年度第4回総合教育会議

【小学校】（1～4年生）

学 年	行 き 先 の 例	費 用
1 年	新江ノ島水族館、立野台公園、湘南台文化センター	0～3千円
2 年	ズーラシア、八景島シーパラダイス、多摩動物園、麻溝公園、芦沢公園、谷戸山公園	0～3千円
3 年	宇宙科学館、小田原城、ズーラシア、三川公園、宮ヶ瀬湖、あーすぷらざ	0～3千円
4 年	子ども科学館、地球博物館、みなと博物館、小田原城、松田町、泉の森、麻溝公園	0～3千円

遠足・その他

平成30年度第4回総合教育会議

【中学校】

学年等	行き先の例	費用
1年 2年	鎌倉、東京、七沢、市内めぐり	5～6千円
支援級	八景島シーパラダイス、新江ノ島水族館、ラーメン博物館、アスレチック	数百円 から 3千円

平成30年度第4回総合教育会議

これからも学校とともに
よりよい校外活動をめざします

中学校給食について

～今後の学校給食の方向性～



1 本市の学校給食の歩み

- 昭和48年5月 学校給食センターを開設し、小中学校の完全給食開始
- 53年4月 南部学校給食センターを開設
- 56年9月 中学校給食廃止（ミルク給食へ）
- 58年5月 米飯給食開始
- 平成20年1月 東柏ヶ谷小学校で単独調理場による給食開始
- 23年4月 中学校ミルク給食に加え、給食弁当注文方式による学校給食開始
学校給食費の公会計化の開始
- 24年9月 学校給食センターと南部学校給食センターを廃止し、「食の創造館」を開館
- 30年7月 大谷中学校における「あたたかいごはん」の提供を試行
(柏ヶ谷中学校も平成30年11月及び12月に試行)



2-1 小中学校給食の現状

小学校の現状

- 食の創造館による給食の提供
12校 6,732名 (H31.1.8現在)
- 単独調理場による給食の提供
東柏ヶ谷小学校 459名 (H31.1.8現在)
- 給食費 (平成21年4月改定)
年間44,000円 (4,400円×10回払い)
- 主食回数
米飯 週4回 パン 週1回



中学校の現状

- ミルク給食+弁当注文方式による給食の提供
6校 3,509名 (H31.1.8現在)
- 弁当注文方式の状況
平成29年度 110,849食 喫食率 19.2%
- 給食費
ミルク給食 年間5,200円 (2,600円×2回払い)
弁当注文方式 250円 (1食当たり)

2-2 小中学校給食の現状

(あたたかいごはんの提供【試行】)

1 実施内容

- (1) 大谷中学校 平成30年7月4日、11日、18日
 - (2) 柏ヶ谷中学校 平成30年11月28日、12月12日、19日
- 食の創造館で炊いた「あたたかいごはん」の給食(無償)を盛り付け方式により配膳

2 アンケート結果

- アンケート回答者にうち、**約97%が「とても温かった、温かった、美味しい」**と回答
その他の意見として、
 - ・ 僕にとって最高のお弁当になった。
 - ・ 当番に「ありがとう」と声をかけてくれて嬉しかった。
 - ・ クラスの皆と話せて良かった。
 - ・ 盛り付ける方式なので、満足できる分食べられた。
 - ・ 次やるなら給食がいいかな。
 - ・ 時間が無かった。(移動教室だと大変) など



3 給食調理施設の状況

	食の創造館	東柏ケ谷小学校 単独調理場
供用開始	平成24年9月	平成20年1月
調理能力（1日当たり）	8,000食	700食
建設金額	21億円	12.5億円
その他の特色	災害時の炊き出し機能	ランチルームを併設



海老名市食の創造館



東柏ケ谷小学校
ランチルーム

4 都道府県別中学校完全給食実施状況

～都道府県別学校給食実施状況（公立中学校数）～
《学校給食実施状況等調査 第6表より》

順位	県名	完全給食を				中学校 総数
		実施している		実施していない		
		学校数	%	学校数	%	
1	千葉県	380	100.0	0	0.0	380
2	福島県	220	99.5	1	0.5	221
2	愛知県	416	99.5	2	0.5	418
2	埼玉県	412	99.5	2	0.5	414
46	兵庫県	214	62.9	126	37.1	340
47	神奈川県	112	27.3	298	72.7	410
	合計	8,390	90.2	915	9.8	9,305

5 今後の学校給食の課題



（仮）海老名市学校給食検討委員会を設置します。

これからも海老名市の児童生徒が健康で生き生きと成長できるよう、安全安心な学校給食のあり方について、研究を進めます。

海西中学校生徒の提案について

- 1 タブレット授業について
- 2 チームティーチングについて
- 3 机・イスの老朽化について
- 4 西門の安全策について
- 5 教室内ロッカーなどについて
- 6 音楽室の暖房について